

琵琶湖水產調查報告

琵琶湖產貝類

第一卷

滋賀縣水產試驗場

正 誤

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
一版附圖		いけちぶかひ	いけてぶかひ	一版附圖		ひしかひ	ひしかひ
二九	九	Calypygus	Calypygus	二一三	一三	Hirasei	Hirasei
二一六	一六	Parcidentatus	Parcidentatus	二一五	一五	Oxyrhynchus	Oxyrhynchus
三三	一三	Lymnaea	Lymnaea	二二	二	Lymnaeidae	Lymnaeidae
九	一〇	網ヲ引揚ヤ	網ヲ引揚ヤ	二一八	一八	Heterodon	Heterodon Pils.
一四	二	扁手ニシテ	扁平ニシテ	二三	八	C. viol Pils.	C. viola Pils.
一六	一一	又手網	又手網	二五	二	砂泥池	砂泥池
二二	一〇	殺頂者者ノ如ク	殺頂前者ノ如ク	一八	一〇	(二版三一)	(二版三〇)
二四	三	Keb.	Kob.	二三	一三	Keb.	Kob.
二八	三	Parcidentatus	Parcidentatus	二七	九	多クヲ起シ	多クヲ起シ
三一	三	Libirtina Goulb's	Libertina Gouuld.	三〇	五	Fbid,	Frid.
三四	一	Heterodon.	Heterodon Pils.	三二	七	Chikuhensis	Chikuhensis

緒言

本卷ハ漁業基本調査要項ニ據リ琵琶湖ノ生物的調査ヲ行ヒタルモノ、一部ニシテ技手村上秀治郎ノ調査シタルモノナリ今貝類ノ種類ト生息状態ノ一斑ニ付キ知り得タル處ヲ編シテ茲ニ刊行ス一般參考ノ資トナルコトアラハ幸之レニ過キス

本調査ハ業務ノ傍ラ之レニ當リタルモノナレハ尙悉サ、ルモノ多ク疑アルモノハ省畧セリ是等調査中ニ屬スルモノハ更ニ他日ヲ俟テ補訂センコトヲ期ス

大正三年三月

滋賀縣水產試驗場

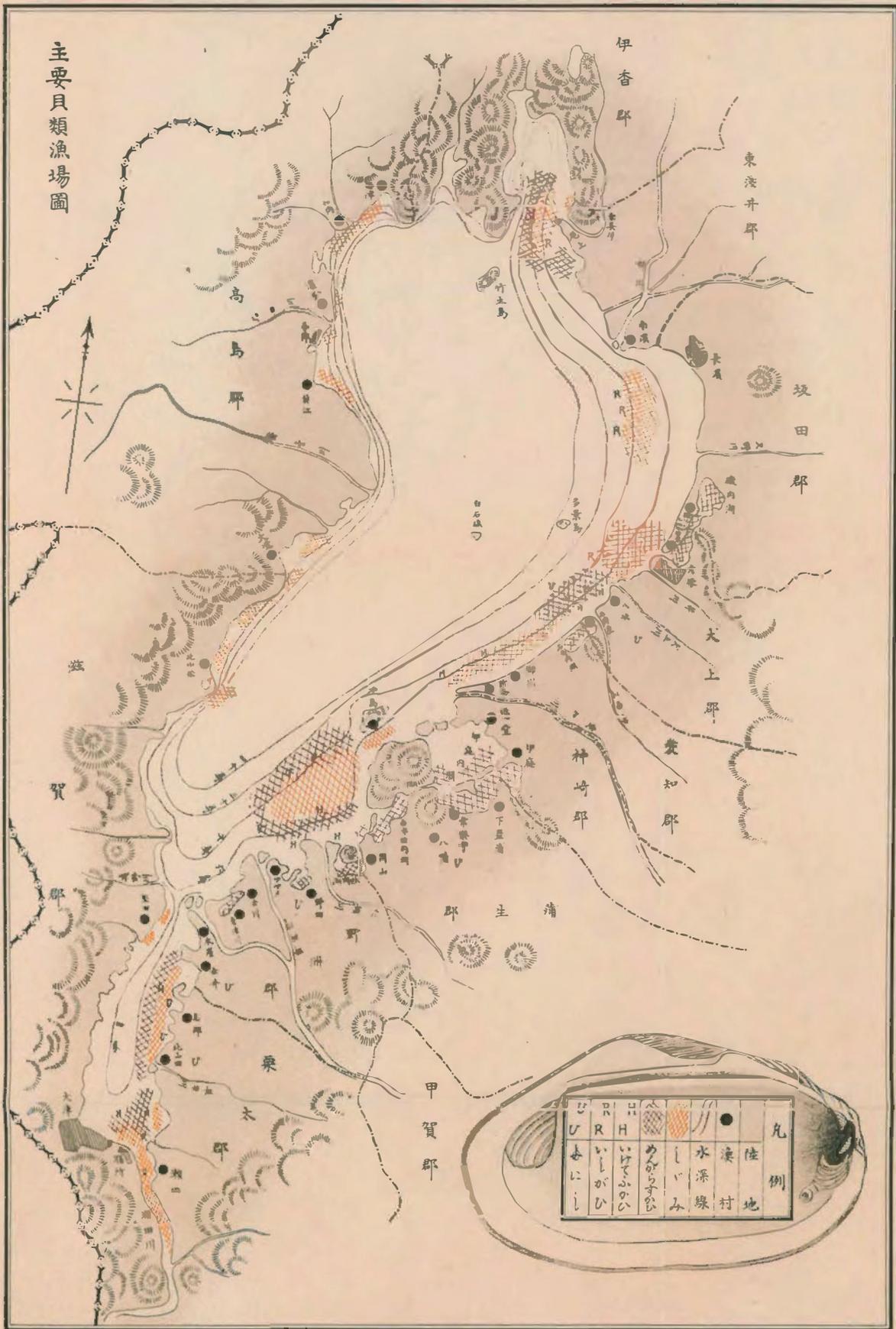
琵琶湖水産調査報告

第貳卷

目次

琵琶湖産貝類	一	ねはねほし	二六
せたしじみ	四	かたはがひ	二六
むらさきしじみ	三	まるたにし	二九
いけてふがひ	三	ねほたにし	三〇
めんからすがひ	一六	ながたにし	三〇
まるとぶがひ	三	やまとかわにな	三〇
いしがひ	三	かわにな	三二
びわいしがひ	四	いほかわにな	三二
せたいしがひ	五	ちくぶかわにな	三三
まつかさかひ	六	ものあらがひ	三三
ささのはがひ	七	ひめものあらがひ	三三
		どぶしじみ	三四
		琵琶湖産ノ眞珠	三四

主要貝類漁場圖



●	陸地
○	水深
〰	水線
〰	しづみ
〰	めがらみ
〰	いけふかひ
〰	いしがひ
〰	むいし

甲賀郡

2. さか



4. き



4a. き



4b. き



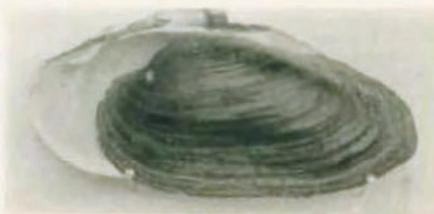
1. $\frac{7}{10}$



5. $\frac{7}{10}$



6. $\frac{7}{10}$



- 1. せたしのみ
- 2. いけちやうかひ
- 4. まるごぶかひ (内湖産)
- 4a. 同 (外湖産)
- 4b. 同 (溝産)

- 5. ひしかひ
- 6. びわいしかひ



3.a 3



3.b 3



3. めんからすかひ (内湖産)
 3.a 同上 (外湖産)
 3.b 同上變形

7.



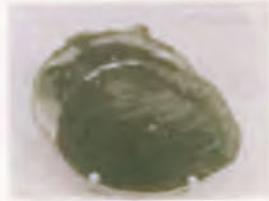
8.



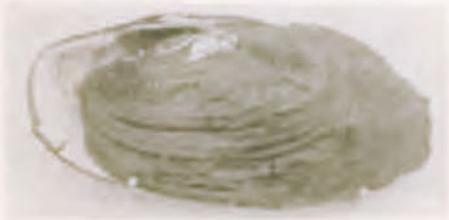
9.



10.



11. 13



12.



13.



14.



16a. 15.

16.

16a.

17.



21

20.

19.



7. せたいしかひ
 8. つかさかひ
 9. さのぼかひ
 10. おぼねぼし
 11. かたはかひ
 12. おぼたにし
 13. ながたにし
 14. まるたにし

15. やまさかほにな
 16. かほにな
 16a. かほにな (變種)
 17. いぼかほにな
 18. ちくぶかほにな
 19. ものあらかひ
 20. ひめものあらか
 21. ざぶしのみ

琵琶湖水産調査報告 第二卷

琵琶湖産貝類

琵琶湖及其ノ流域ニ産スル貝類ヲ採集シテ茲ニ十屬二十二種ヲ得タリ斯ノ如ク其種多シト雖モ方今漁業者ノ主ナル漁獲物ハ「せたしじみ」ヲ第一トシ亞ヒテ「いけてふがひ」「めんからすがひ」「いしがひ」「たにし」ノ數種ニシテ其他ハ産額ハ少ナク且ツ需用ノ價值乏シキモノトシテ願ラレズ其ノ産額統計ニ示ス所明治四十三年以後三ヶ年平均年額貳萬四千五百五拾六圓ニ達ス然レドモ實際ニ於テハ之レ以上ニアルベシ而シテ之レガ漁獲ニ使用セラレタル漁具ハ蛭搔百二十四個貝曳網二百十七個ニシテ比較的漁具ニ資本ヲ要スルコト尠ナク而モ其ノ漁期恰モ他漁業及農家ノ閑散時ヲ利用シテ從事セラル、ヲ以テ經濟上重要ナル漁業ノ一トシテ數ヘラル

尙是等ノ漁獲物ヲ加工製造シテ時雨煮ヲ製シ年額三千貫餘此金額六千五百圓餘ヲ産シ廢物利用トシテ蛭介殼ヨリ二十二萬餘貫此金額五千五百餘圓ノ介灰ヲ製出スルノ外介細工ノ原料トシテ「いけてふがひ」ノ介殼ヨリ介鉛ヲ製シ或ハ細工品ノ原料トシテ海外ニ輸出セラル、モノ及鳥介科ノ各種ト蛭ヨリ尠カラザル眞珠ヲ産シ此等ヲ計上スルトキハ優ニ約五千餘圓ニ達スベシ今其ノ種屬ヲ掲グレバ凡ソ左ノ如クニシテ學名ノ査定ハ平瀬介館主平瀬與一郎氏ニ負フ所トス

Family. Cyrenidae. しれなしじみ科

Genus. Corbicula. コルビキユラ屬

sandai Reinh.

せたしじみ

viol Pils

むらさきしじみ

Family. Unionidae.

からすがひ科

Genus. *Hyriopsis*.

ヒリオプシス属

schlegelii Marts.

いけてあがひ

Genus. *Cristaria*.

クリスタリア属

herculea Midd.

めんからすがひ

Genus. *Anodonta*.

アナドインタ属

calpyrgus Kobelt.

あんどやがひ

Genus. *Nodularia*.

ノチュラリヤ属

reiniana Kob.

いしがひ

biwae Kob.

びわいしがひ

hirasea Haas. var.

せたいしがひ

japonensis Lea. var.

あつかさがひ

oxrylychus Marts.

やせのほがひ

parclentatus Haas.

やせねぼし

Genus. *Pseudodon*.

フセウドドン属

loemisi Simpson.

かたはがひ

Family. Viviparidae. たびし科

Genus. Viviparus. ビビパルス属

japonicus Martz. ねほとにし

selateri Ffd. ながたにし

malleatus Raeva. まるとにし

Family Meraniidae. かわにな科

Genus. Merania. メラニア属

nipponica Smith. やまとかわにな

libertina Gould. かわにな

multigranosa Bdg. いほかわにな

nipponica Chikubensis Pils. さくぶかわにな

Family. Lymnaeidae. リムネー科

Genus. Lymnaea. リムネア属

japonica Jay, ものあらがひ

pervia Martz, ひめものあらがひ

Family. Sphaeriidae. ぶせしじみ科

Genus. Sphaerium. スフェリウム属

heterokton, どぶしじみ

接息場

龜	燕	ハ	柳
貝	貝	貝	貝
一〇二	八九	九二	九六
九六	八二	九二	八六
六三	五六	五九	五九
七六	六九	七三	七二
七六	六六	六三	六九
五六	四三	四六	四九
表面色彩「ヤシマガヒ」ト 痕外ヨリ稍々薄キ紫色ヲ呈ス	表面漆黒色ニシテ光澤アリ 内面ノ套痕外ハ暗黒紫色ヲ呈ス	表面ノ色彩ハ「クロガヒ」ト 内面ノ中間ニアリ	「ヘニガヒ」ノ大ナルモノニシテ 表面ノ紅色ハ變シテ稍々褐 色ヲ帯ビタリ

接息分布極メテ廣大ニシテ沿湖ノ砂地ニ産セザル處ナク底質砂地ニシテ俗ニ「接息地」ト稱スル水深十尋内外ノ所ニ最モ多ク生息スルヲ見ル方今漁場トシテ主ナルモノヲ擧グレバ

一、瀬田川漁場

瀬田川唐橋ヲ中心トシテ下流二十町上流東海道線鐵橋下迄及ビ膳所町冲ニ至ル間底質砂地ニシテ砂礫ヲ混ス水深五尺ヨリ一丈二尺ヲ有シ絶エズ水流アリ湖中各漁場中此所ニ産スル蜆ハ品質及色彩ノ最モ良好ナルモノトス

一、冲島漁場

(イ) 蒲生郡島村冲島ノ西南二十町乃至一里ヲ離テタル仁保川冲ニシテ冲島専用漁業漁場内ヲ主トス水深七尋乃至二十尋ヲ有シ底質砂地トス

(ロ) 同ジク冲島ヨリ東南方十町乃至十五町ヲ離テタル水深三尋乃至八尋ニシテ砂地ノ處トス此漁場ニ産スルモノハ瀬田川産ニ比シ品質大差ナキモ前者ハ品質稍々劣レリ

一、北小松漁場

(イ) 滋賀郡小松村北小松ノ東北二町乃至十町沖水深十尋乃至十二尋ノ所トス

(ロ) 同北小松ノ東南ニ當リタル雄松濱五町沖合水深八尋ノ所

(ハ) 高島郡大溝町沖東北七町乃至十町沖深八尋乃至十尋ノ所

(ニ) 同郡本庄村横江濱沖水深十尋ノ所

一、知内漁場

高島郡百瀬村知内及新保、海津村西濱地先三百間沖水深七尋内外ノ所

一、尾上漁場

(イ) 東淺井郡朝日村尾上ヨリ西北約五町乃至十町沖水深五尋乃至十尋ノ所

(ロ) 同尾上ヨリ片山ニ至ル沿湖水深五尋ノ所

一、長濱漁場

坂田郡長濱町沖北西十五町水深七尋乃至十尋ノ所

一、松原漁場

犬上郡松原村及磯山沖ヨリ五町乃至十五町ノ間水深五尋乃至十尋ヲ有スル所ニシテ蜆ノ品質良好ナルモ禁漁区内ナルヲ以テ漁獲スルコトヲ得ズ

一、堅田漁場

(イ) 滋賀郡堅田町本堅田ト今堅田ノ中間ノ沖合水深一二尋ノ所

(ロ) 栗太郡山田村北田沖ヨリ野洲郡赤野井沖ニ至ル南北約一里ノ間水深三尋乃至五尋ヲ有スル所
前者ハ釣漁業ノ餌料トシテ漁獲セラル、ニ止マリ後者ハ底質泥土ヲ混ジ蜆ノ品質粗悪ナルト且ツ曳

網使用禁止區域内ナルヲ以テ貝曳網ヲ使用スルコトヲ得ズ

産卵及成長 幼貝ハ色澤介殼共ニ美ニシテ多クハ紅色又ハ橙黃色ヲ帶ビ老成スルニ從ヒ暗褐色ヲ呈シ殼頂剝落ス繁殖期ハ四五月ノ頃ニシテ恰モ藤ノ開花期ニ於テ最モ肉量多ク藤ノ落花ト共ニ胎卵ヲ放出スルモノ、如ク六月ニ至レバ俄然肉量減ズ故ニ六月ヨリ九月下旬ニ至ル間ハ最モ肉量少ナク食味亦不良ナリ生息年齢及成長度ハ不明ナルモ余リ永カラザルモノ、如ク一漁場ニ於テ二三年間漁獲ヲ中止スルトキハ老成シテ斃死スルモノ多ク爲メ一漁獲物中介殼ヲ混シ蜆ノ肉質亦粗惡トナルヲ免レス故ニ廣漠タル漁場ヲ有スルニ係ラズ場所ニヨリ需用地ニ供給ノ便ヲ缺グガ爲メ爾然漁場ノ荒廢ヲ來セル處ナキニアラズ故ニ場所ニヨリテハ壯成介ヲ絶ヘズ漁獲スルコトニヨリテ漁場ノ價值ヲ維持向上セラル、ナルベク蜆漁獲ノ爲メ生息所ヲ攪拌スルハ恰モ蔬菜培養ニ於ケル耕作同様ニシテ底質ヲ軟ラゲ稚介ノ發育ヲ助クトモ云フ

漁期及產地

漁期ハ十一月下旬ヨリ翌年五月迄トシ内瀬田川漁場ノミ終年漁獲セラル、ト雖其ノ他ノ漁場ハ大抵二月ヨリ始メ五月上旬ニ至リ他ノ漁業及農家ノ繁忙期ニ移ルト共ニ終ルヲ常トス次ニ主ナル產地トシテ一ケ年一萬貫乃至百貫々ノ産額ヲ有スル地名ヲ順擧スレバ瀬田、堅田、南濱、小松、大溝、松原、柳川、沖島、尾上濱、分針江、長濱等トス

蜆ハ產地及漁期ニヨリ著シク品質ニ優劣アリ混泥地ニ産スルモノハ殼色暗黒ニシテ内面暗紫色ヲ呈シ肉味惡ク砂地及砂礫地ニシテ且ツ水質清澄水流アル場所ニ産スルモノハ殼質堅固ニシテ光澤ヲ有シ肉

味善良ニシテ肉量多ク其ノ狀況次ノ如シ

漁獲ノ時期ニ依ル品質ノ相違 瀬田川産蛻ニ就テ生介ヲ煮上ゲテ生スル肉量(身蛻)及食味ノ關係ニ付
當業者ノ語ル所ニ依レバ下ノ如クニシテ一月ヨリ五月迄ニ漁獲セララル、モノ最モ良好トス

漁 期

一升ノ炊肉(身蛻)ヲ得ルニ要スル生介ノ量

品質食味

自十月至十二月

一斗四升乃至一斗五升

惡シ

自一月至三月

一斗二升五合

良シ

自四月至五月

七升乃至一斗

最良

自六月至九月

一斗三升五合

稍惡シ

但シ生介一升ノ容量 七百匁

炊肉(身蛻)二升ノ容量四百五十匁トス

漁場ニ依ル品質ノ相違 (二月調査)

漁 場 別

生介十貫目毎ヨリ得ル身蛻ノ量

同上空殻量

冲 島(仁保川冲漁場)

七六二匁

五・九〇〇匁

堅 田(野洲郡赤ノ井冲漁場)

六八〇匁

四・一八〇匁

尾 上(余呉川冲漁場)

五二二匁

六・五一〇匁

産 額

此ノ種ハ介類産額ノ過半ヲ占メ大正元年度ノ産額一萬三千〇七十九石金額壹萬六千五百〇九圓ヲ産シ

尚需用ノ途開發セラレ、ニ於テハ優ニ數倍ノ産額ヲ得ベシ

以上産額ノ内近江水産販賣組合ニ於テ取扱販賣高ヲ見ルニ下表ノ如ク一シテ即チ平均販賣高年三萬八千二百六十貫匁金額九千貳百四拾貳圓四拾九錢ナリ

年 度	數 量	金 額
明治四十三年	二七、四一七・六七四 _匁	七、八〇六・一二六 _匁
明治四十四年	三四、七八八・二八〇	八、九三九・一四七
大 正 元 年	五二、五七六・二六一	一〇、九八二・二二五

漁 獲

漁具ハ介曳網ト蚬搔ノ二種ニシテ介曳網ハ湖邊廣ク用ヒラレ漁船一隻ニ漁夫一人乃至三人乗組ミ漁場ニ達シ網ヲ水底ニ投シ漕行シテ適當ノ場所ニ至リ船ハ投錨シテ止マリ曳キ網ヲ手操リテ網ヲ引キ揚ゲ網中ノ蚬ヲ漁獲ス此ノ如ク反復スルコト一日中ニ普通四十回乃至五十回ニシテ漁スル蚬ノ量ハ四百八十貫匁トス

蚬搔ハ專ラ瀬田川漁場ニ於テ使用セラレ漁船一隻ニ一人乃至二人乗組ミ漁場ニ至リ投錨シテ一人ハ此網ヲ水中ニ入レ砂礫ト共ニ蚬ヲ抄ヒ取り上グレバ他ノ一人ハ蚬ト砂礫ヲ撰別シテ採ルモノナリ此ノ如ク反復スルコト一日四百回ニシテ普通二十五貫匁ヲ漁スルモノナリ
今各漁場ニ就テ經濟的價值ヲ示セバ下ノ如シ

瀬田川漁場(漁期周年)蚬搔網

一日ノ出漁船	一日ノ漁具使用回数	漁獲高	一石ノ代價
最多 三十六艘	(二艘ニ付) 五百三十回	二十石三斗二升	壹圓八拾錢
最少 五艘	二百六十回	一石二斗二升	壹圓
平均 十八艘	四百五十回	六石〇八升	壹圓六拾錢

一艘ノ漁獲高四五月ノ頃ニハ一日ニ一石ヲ漁シ夏季ハ四斗ヲ漁獲スルヲ普通トシ之ノ價格壹圓六拾錢乃至六七拾錢トス

冲島漁場(漁期自二月至四月) 貝曳網

一日ノ出漁船	一日ノ漁具使用回数	漁獲高	一石ノ代價
最多 十八艘	五十回	百五十九石九斗	參拾錢
最少 五艘	四十回	十六石九斗	貳拾參錢
平均 十二艘	四十五回	七十九石一斗	貳拾五錢

漁船一艘ニテ一日ノ漁獲高二人乗終日作業ニ從事シ八石六斗(四十三杯)ヲ漁ス之ノ價格貳圓拾五錢ニ相當ス

堅田漁場(漁期自一月至四月) 貝曳網

一日ノ出漁船	一日ノ漁具使用回数	漁獲高	一石ノ代價
最多 十一艘	八十九回	百二十九石三斗	四拾七錢
最少 五艘	三十回	六石四斗五升	參拾錢
平均 九艘	五十回	四十六石八斗	參拾參錢

漁船一艘ニテ一日ノ漁獲高九石六十杯(四百八十貫)ニシテ價格參圓ヲ普通トス漁船ハ三人乘ニシテ貝曳網二個ヲ使用ス

北小松漁場ニ於テハ平均一日ノ漁獲高身蜆ニ製シ十一貫二百六十匁金額貳圓貳拾參錢(一貫匁拾九錢八厘)ニシテ天候平穩ニシテ終日漁獲ニ從事スルトキハ二十二貫七百匁金額參圓七拾四錢(一貫匁拾六錢五厘)ヲ得ルコトアリ其ノ他尾上長濱、知内等殆ント大差ナシ

處理法

漁獲セラレタル蜆ハ其ノ儘皮蜆ト稱シ需用者ニ供給セラルルモノアルモ大部分ハ一度此ヲ釜中ニ入レテ煮沸シ肉ヲトリ身蜆トシテ售賣セラル今之ノ身蜆製造ニ付テ二月堅田漁場調べニ依ル經濟關係ヲ示セバ左ノ如シ

生介一釜ノ量

一六〇〇〇(三斗)

燃料及手間代 貳錢五厘

身 蜆

一〇二〇〇

二升七合(一升ニ付七錢乃至十錢トス)

空 殻

九〇〇四〇

參厘乃至壹錢

煮 汁

一〇八〇〇

廢 棄

之ノ身蜆一貫二百二十匁ヲ乾燥シテ三百二十九匁ノ乾燥肉量ヲ得

以上ノ如ク身蜆トシテ售賣セラル、一至此ハ今ヨリ百二三十年前ノ事ニ屬シ又介漁業ノ創始モ共ニ瀬田川漁場ノ蜆ニ依テ開發セラレ滋賀縣漁業沿革誌ニ記スル所ニ依レバ元錄三年勢田川浚疏工事アリ幕府ヨリ蜆運上ヲ免セラレ寶曆九年舊膳所藩ヨリ運上錢八貫文相納ムベキ達シアリ天明七年ニ至リ運上ヲ免セラレ御用蜆ヲ献上スル例トナリ文政十一年大津代官ヨリ蜆搔網ノ員數ヲ調査シ檢印ヲ付シ船

一艘ニ税金五分相納ムベキ達アリ寛政年中蚬ノ大漁アリ此時ヨリ身蚬ヲ製スルコトヲ發明セリ其ノ法一夜流水ニ浸シ砂ヲ吐カシテ其ノ大ナルモノヲ撰ミ之レヲ手鍋ニ入レ水ヲ適宜ニ滴シ薬製ノ蓋ヲナシ松材ニテ炊クトキハ蚬殻相分ル、ヲ度トシ之レヲ藍中ニ入レ手桶ノ内へ篩ヒ落ス時ハ肉バカリ離レ殻ハ篩ニ殘ルナリ再ビ之レヲ水中ニ浸シ保存スルモノトス但シ其ノ薪材ハ松樹ニ限ルモノナリ斯クノ如ク身蚬トシテ售買セラル、モノ大部分ヲ占ムト雖モ又之ノ身蚬ヲ原料トシテ時雨煮ニ製造販賣セラル、モノ既往ノ産額左ノ如クニシテ年額六千五百餘圓ヲ産ス

年次	數量	金額
明治四十三年	三、六二〇貫匁	七、四二四圓
明治四十四年	三、九六二貫匁	七、四四八圓
大正元年	二、四四〇貫匁	四、六二〇圓

介殼ノ利用 從來、廢棄シタル蚬介殼ヲ採リ介灰ヲ製シ肥料ニ供用スルニ至リシハ寛政年間栗太郡橋本村ニ起リ其ノ法ハ石灰ノ焼法ヨリ自ラ工夫セラレタルモノニシテ粘土ニテ高サ一丈二尺内徑八尺厚サ一尺餘ノ窯ヲ築キ底部ニ鐵製ノろすどるヲ架シ蕙ヲ敷キ松炭ヲ並べ蚬殻ヲ入レ更ニ松炭ヲ加へ順次殻層ト炭層ト相互ニ積メ込ミ窯中ニ充タシ底部ノろすどるノ下ヨリ火ヲ點シテ介殼ヲ蒸焼スルトキハ三日ヲ經テ悉ク介灰トナル之レヲ分チテ上等ノ細粉ハ人形細工ニ供シ其ノ次キハ染料ニ供シ下等品ハ肥料ニ販賣ス而シテ介灰ハ原料タル介殼ニ依テ介灰ノ品位ニ相違アルモノニシテベにかい、しまかい、せたかい、まわたかい等ヨリ得ルモノハ上等品ニシテ鳥介科ノ介殼ヲ混ズルトキハ俗ニ云フ「あく」強キニ過ギ宜シカラズ尙木炭ヲ使用セスシテ無煙炭及こーくすヲ代用シテ焼キタルモノハ細工品原料及染料ニハ適セ

ス専ラ肥料ニ供用ス純白ニシテ細粉ナルモノハ上等品ニシテ容量二斗五升、五貫匁ノ俵装トシ一俵貳拾五錢乃至參拾五錢ノ時價ヲ有シ肥料用下等品ハ容量六貫匁二斗三升ヲ俵装トシ時價拾貳參錢トス介灰ノ産額統計ノ示ス所左ノ如クニシテ蒲生郡冲島ヲ主産地トシ其他栗太、滋賀、高島ノ各郡ヨリ産出ス

年次	數量	金額
明治四十三年	一九九、一〇〇貫匁	六、二五一圓
明治四十四年	二〇八、二五〇貫匁	四、五六二圓
大正元年	二五四、六五〇貫匁	五、五四三圓

むらさきしゝみ (C. niol Pilo)

此ノ種ハ本湖ニ産スト稱セラル、新種ナルモ琵琶湖ニ於テ採集セル數多ノ標本ニ就キ調査セルモせしじみト區別スルコト甚ダ困難ニシテ未ダ棲息分布等明ナラズ茲ニハ單ニ其ノ名ヲ掲ゲ後日ノ闡明ヲ期ス

いけてふがひ (R. schlegelii Martens) (一版ノ二)

方言 ねがひ、ねんがひ、ねとこがひ、からすがひ、あかきがひ、なべすがひ、普通体形 殻長六寸八分 高サ三寸八分 厚サ一寸七分

形 態

殻形薄ク扁平ニシテ殻質厚ク強靱ナリ外面濃黒色ニシテ内面ハ美麗ナル眞珠層ヲ有シ翼部大ニシテ突出スコト稚介ニ著シク壯成スルニ從ヒ漸次磨滅シテ遂ニ其ノ根跡ヲモ認メザルニ至ルト共ニ殻頂剝滅シテ稜柱層ヲ露出スルモノ多ク蝶鉸ニ主齒ナク極メテ強固ナル前側齒左右ニ二個アリテ右側ノ一個ハ少サク後側齒ハ左側ニ二個右側ニ一個ヲ有ス套痕ハ著シク凹溝ヲナシ前方ニ二個後方ニ一個ノ肉柱痕及牽足筋痕モ深ク凹入シテ眞珠層ニ渦脈ヲ畫ク南津田内湖ニテ採收シタルモノハ殻長八寸六分高四寸六分空殻ノ量百七十五匁ヲ有セリ

棲 息 場

此ノ種ハ琵琶湖特有ノモノニシテ京都府下巨掠池ニ少量ヲ産スト云フ生息スル場所ハ主トシテ湖南及湖東沿湖ノ水深十尋以內底質砂泥ノ所ニ産ス其ノ他南津田、伊庭、石寺、松原、延勝寺ノ各内湖ニモ極メテ少量ヲ産シめんからすがひと共棲ス明治三十六七年以來介殼ノ需用ニ應シ酷漁ノ結果頓ニ産額ヲ減シ漁場ノ大部分ハ荒廢ニ皈シ目下他ノ介漁ニ際シ僅カ一混獲セラル、一過ギサル有様ニアリ
漁場ノ主ナルモノヲ擧グレバ

一、瀬田川筋漁場

瀬田川々岸砂泥ノ所水深一尋乃至三尋ノ處瀬田川鐵橋ヨリ矢橋及膳所町沖水深十尋以內ニテ蜆漁場ノ冲合若クハ磯方トス

一、北山田及志那冲漁場

栗太郡山田村北山田沖ヨリ野洲郡赤野井沖ニ至ル南北約一里即チ蛭漁場ノ砂地ヨリ泥土地ニ移ル
中間砂泥池ノ所トス

瀬田川筋ト共ニ酷漁ノ結果現今産額稀薄ナリ

一、菖蒲沖漁場

野洲郡仁保川尻左右沿岸及蒲生郡島村長命寺ヲ見通シタル線上約一里ノ湖邊及ビ沖島專用漁業漁
場内ノ砂泥池

一、柳川須越沖漁場

愛知郡愛知川尻及宇曾川尻犬上郡八坂沖約十町乃至二十町以内ノ所

以上漁場ノ内最前ニ開發セラレタルモノハ瀬田川筋及北山田志郡沖漁場ニシテ此等漁場ハ數年ナラズ
シテ忽チニ荒廢セテレ次テ菖蒲沖漁場ニ移リ大正元年ヨリ柳川須越沖漁場ヲ漁シツ、アリ

漁期、漁期ハ十一月ヨリ翌年五月迄トシ盛期ヲ三四月ノ頃トス産地ハ瀬田、北山田、堅田、菖蒲沖島、八幡、伊
庭、柳川、須越、八坂等トス

産卵及成長 産卵ハめんからすがひ、まるどぶがひニ同シク卵巢ヨリ出タル卵ハ鰓上腔ニ於テ受精ノ後
チ鰓水管中ニ止マリ發生ヲ進メ「グロキチユム」ト稱シ二枚ノ介殻ヲ生シ開閉スルニ至リテ体外ニ放出セ
ラレ更ニ魚類ノ鰓鰭等ニ附着シテ諸方ニ擴ガリ一定ノ時期ヲ經テ魚体ヨリ放レ水底ニ落ち茲ニ始メテ
獨立ノ生活ヲナシテ成長スルモノニシテ之ノ育兒袋ノ如キ用ニ供セラレタル鰓中ヨリ放出セラル、時
期ハ十二月ヨリ翌年四月迄ニ多シ稚介ノ發育徑路及成長ハ未ダ明ナラス

稚介ノ發育經過及成長ハ未ダ明ナラザルモ本場ニ於テ明治四十四年來縣設第四禁漁區内へ移植シタル

モノ及採集シタル標本ニ就キ推測スルニ成長度ハめんからすがひヨリ遙ニ遅緩ニシテ殻長四寸殻量四十匁以上ニ達スルハ少ナクモ七八箇年以上ヲ経過スルモノ、如ク殻長一寸二分以下ノモノハ環層平
行シテ成長線ヲ認メス殻長一寸五分ノモノニ一條ノ成長線ヲ畫シ殻長二寸ノモノニ四條殻長二寸四分
殻量六匁ノモノニ五條殻長三寸ノモノニ七條殻長三寸五分ノモノニ九條殻長四寸二分殻量四十匁ノ
モノ十二條ノ成長線ヲ畫クヲ見ル

産 額

いけてふがひハ漁獲後之レヲ僅ニ湯煮シテ肉ヲ取リテ(身介ト稱ス)售賣シ介殼ハ介細工原料トシテ大
阪及神戸地方問屋ノ行商人ニ販賣ス身介ノ年産額三百八十貫價格百拾圓(四十三年ヨリ大正元年ニ至ル水産販賣組合取扱高)アリ其ノ他
介殼約一千百二十貫匁價格貳千〇拾六圓ヲ目セラル

漁獲及處理法

漁具ハ内湖ノ又手網ヲ除クノ外専ラ貝曳網ヲ使用シ漁船ニ漁夫一人乗リテ一日ノ漁獲高百個乃至二
百個ヲ得ト雖モ方今漁場荒廢ノ爲メ之ノ種ノ介ノミ漁獲ニ從事スルヲ得スシテ他ノめんからすがひ
漁獲ニ際シ混獲セラル、ノ状態ニアリ今之ノ漁獲物處理ニ就キ見ルニ(二月十六日調當蒲漁場産)

一釜ノ生介量	湯煮シテ得ル量	五百六十匁
四貫百匁三十七個	同	空殻量
煮	汁	一貫八百二十匁
		一貫三百三十匁

炊肉一貫匁(約二升)ノ價格貳拾貳錢乃至參拾錢ニシテ平均貳拾五錢トス

介殼一貫匁殼長四寸以上ノモノノ價格六錢乃至參拾錢ニシテ相場一定セズ

故ニ十貫匁ノ生介ヨリ身介一貫三百七十六匁此ノ金參拾錢參厘單價貳拾貳錢(空殼四貫五百三十六匁單價拾八錢)此ノ金八拾壹錢六厘合計壹圓拾壹錢九厘ヲ生産スル割合ナリ

尙同様ニ個數一百個ニテ六貫五百六十匁ヲ有シ介形前者ヨリ稍小形ナルモノヲ解剖シテ得タル肉量及眞珠含有量ハ下ノ如クニシテ眞珠ハ質銀白色ニシテ品質優良ナルモ形小ナルト含有量ハ四%ニシテめんからすがひヨリ遙カニ少ナシ

空殼 二貫八百六十匁

肉量 一貫三百六十八匁(生)

〔蒸上〕乾燥肉量 五百七十六匁

眞珠 四 個

水量 二貫三百三十匁

介殼ノ利用

殼頂廣ク剝離腐蝕セル老成貝及殼長四寸以下ノ小形ナルモノハ殼質薄弱ニシテ光澤少キガ故ニ利用ノ價値ナク前述ノ如ク介細工ノ原料トシテ需用セラル、モノハ何レモ介長四寸以上ノ壯成介ニシテ之ヨリ介卸ヲ製スルノ外殼面ヲ磨キ印畫ナド施シ又ハ漆ヲ塗り足ヲ附着セシメテ裝飾又ハ日用具ノ製作ニ供セラル

めんからすがひ

(*C. herculea Midd.*) (二版三)

方言　　めがひ、　めんがひ、　どぶがひ、　だぶがひ

普通体形　　殻長六寸四分　　高三寸八分　　厚二寸七分

形態

殻質前者ヨリ脆薄ニシテ長楕圓形ヲナシ殻頂脹レ其ノ前後ニ耳狀ノ翼部ヲ張リ幼介ニアリテハ殊ニ著シク表面帶黃綠色ナルヲ普通トス表面黑色ニシテ往々綠色ヲ帶ブ壯成セシ介殼ハ翼狀部全ク欠ケ殻頂剝離シ稜柱層ヲ現ハシ次ニ眞珠層ヲ露出スルニ至ル主齒ナク蝶番ノ後方ニ圓滑ニシテ大ナル側齒ヲ左右ニ各一個ヲ具フ鞣帶稍強厚ニシテ殻ノ内面ハ紅彩アル淡肉色ヲ呈スル眞珠層ヲ有ス

此ノ種ニ内湖ニ産スルモノト外湖ニ産スルモノト二種アリテ外湖ニ産スルモノハ(二版三a)形少サク殻質薄弱ニシテ尙一ツノ變種ヲ産ス(二版三)内湖産ノモノハ概シテ形大キク殻質強固ニ且ツ厚シ(二版三c)

棲息場

めんからすがひハ蜆ニ次イデ多産スル主要ナルモノニシテ底質泥土若クハ柔軟ナル砂泥地ニシテ水深數尺ノ所ヨリ二十尋以内ノ湖中及内湖一圓ニ棲息シ方今漁場ノ主ナルモノハ伊庭内湖ヲ始メトシ南津田、牧野田、石寺、三津屋、松原、磯、延勝寺ノ各内湖ニシテ外湖ノ漁場ハいけてふがひニ畧ホ同シト雖モ何レモ遙カ沖合ニ迄分布生息ス

産卵及成長 めんからすがひモいけてふがひニ同ジク自體兩側ノ鰓中外側ノ二葉ハ育兒袋ノ如キ用ニ供セラレ卵ヲ之ノ内ニテ孵化セシメどろきぢゆむトナリテ殻外へ放出セラル、時期ハ概ネ冬季十二月ヨリ翌春三月迄ニ最モ多ク四月ノ末ニ至リ尙放出セザルモノハ僅少ナリ成長度ハ未ダ詳カナラザレドモ四月下旬宇曾川沖漁場ニテ採集シタル標本ニ就テ其ノ殻面ニ畫シタル成長線ニヨリ年齢ヲ概測スレバ滿一ケ年ニシテ殻長八分殻量零々零三厘二ケ年ニシテ殻長一寸七分殻量零々三分三ケ年目ニ殻長二寸殻量五々四ケ年目ニ殻長三寸殻量十七々五ケ年ニシテ殻長三寸三分殻量二十二々餘ニ成育スルモノノ如ク是等ハ俗ニあをがひト稱シ殻面綠色ヲ帶ヒ殻薄ク成長線粗大ニシテ膨起シ極メテ詳明ナレドモ殻長四寸以上ノモノニ至リテハ殻色一面ニ漸次黒褐色ヲ呈シ套面ヨリ分泌スル眞球層ノ増加ニ據リ殻ノ厚サヲ増シ成長線ハ殻縁ニ至ルニ從ヒ蜜接シテ判然ナラズ左ニ四月廿二日採集調査ニ係ル標識的ノモノ數個ヲ記スレバ次ノ如シ

殻	長	殻ノ厚サ	殻	量	成長線ノ數
○、八五	○、二〇	○、〇三	○、〇三	一	翼狀部長クシテ尖リ斧狀ヲナシテ突出シ殼乳白色ニシテ殼薄ク微ニ内臟ヲ透視スルヲ得
○、七五	○、一五	○、〇三	○、〇三	二	翼狀部ハ廣大ナリ殻面綠色ヲ帶ビ殼頂ヨリ第一成長線内ハ褐色ヲ帶ブ
一、七〇	○、五〇	○、〇三	○、〇三	二	翼狀部廣クシテ低ク第一成長線内ハ全ク褐色ニシテ第二成長線褐色ヲ呈シ線内ニ綠色ヲ帶ビ第三成長線及線内ハ總テ綠色ヲ呈ス
二、一〇	○、七〇	○、〇三	四、〇〇	二	
二、〇〇	○、七〇	○、〇三	五、〇〇	二	
二、一五	○、七〇	六、〇〇	六、〇〇	二	
二、六〇	○、九五	一三、〇〇	一三、〇〇	三	殼縁ノ成長線一、二ハ綠色ニシテ殼頂ニ至ルニ從ヒ濃厚ナル褐色

二、九五	一、一〇	一六、五〇	三	色ヲ呈ス
三、〇〇	一、二五	一七、〇〇	三	
三、二〇	一、二〇	二二、〇〇	四	
三、三〇	一、二〇	二二、〇〇	四	同上
三、四〇	一、三〇	二五、〇〇	五	翼狀部磨滅シテ狭小殻面褐黑色ヲ呈シ殻縁ニ近ク成長線蜜接シ
三、四〇	一、四〇	三〇、〇〇	五	テ明瞭ナラズ
三、五〇	一、四〇	三二、〇〇	五	
三、八〇	一、四〇	三五、〇〇	六・七	
四、二〇	一、六〇	四三、〇〇	七・八	翼狀突起脱落シテ殻頂禿ケタリ
四、六〇	一、七〇	六〇、〇〇	七・八	

産額

めんからすがひハ前者ニ同シク漁獲後一旦之レヲ湯煮シテ肉ヲ採リ身介(蚌)ト稱シ售賣シ内湖湖邊淺所ニ産スルモノハ細民ノ食膳ニ供セラレ介殻ハ廢棄シテ顧ミサルモ内湖産ノ介殻ハ強固ニシテ厚ク眞珠層美麗ナルヲ以テ介卸製造ノ原料ニ供スルモノアリ一ケ年幾何ヲ産スルヤヲ明ニセザレドモ身介(煮上肉)ノ産額ハ一萬四千餘貫匁金額四千餘圓ヲ産ス水産販賣組合ニテ取扱タル數量ヲ年別スレバ下ノ如シ

明治四十三年	一一、四七三・一七〇 <small>カ</small>	三、四二三・八〇二 <small>円</small>
同 四十四年	一四、四二七・四〇四	四、一二四・四四三

大正元年

一五、〇〇一・一〇〇

四、五二一・七二一

漁獲及處理法

漁具漁法及漁期ハ前者ニ異ナラズ今沖島漁場ニ於ケル漁獲狀況ヲ見ルニ漁船一隻ニ付漁具(貝曳網)一日ノ使用回數二十回乃至三十五回ニテ漁獲高四五十貫匁乃至百貫匁ヲ得之レヨリ得ル身介(煮上肉)ノ量ハ四貫匁乃至九貫匁ニシテ價格壹圓六拾錢乃至參圓六拾錢ニ相當ス

今之ノ漁獲物ニ付キ内湖産ト外湖産トヲ比較スルニ外湖産めんからすがひ十貫匁(生介)ヨリ肉量(炊上)ゲ八百八十匁空殻二貫九百五十二匁ニシテ内湖産めんからすがひ十貫匁(生介)ヨリ得ル肉量九百二十四匁空殻三貫二百六十匁トス一月漁獲ニ係ルモノニ付調査セシニ左ノ如シ

外湖産めんからすがひ

六貫三百匁
(八十五個)空

湯煮シテ得ル身介(肉量)

殼 一貫八百六十匁

五百六十匁

内湖産めんからすがひ

産地	調査數量	生肉量	空殻量	水量
磯内湖	二百二十個(二十一貫匁)	五 ^貫 ・一四〇	六 ^貫 ・六五〇	八 ^貫 ・七〇〇
松原内湖	六十四個(七貫六百六十匁)	一・九四〇	二・六二〇	三・一〇〇
伊庭内湖	五十四個(七貫八百五十匁)	二・七六〇	二・六一五	二・五〇〇
下豊浦	九十三個(十四貫五百匁)	四・三二〇	四・七〇〇	五・一〇〇
計	四百三十一個(五十一貫百匁)	一四・一五〇	一六・五八五	一九・四〇〇

琵琶湖産貝類

まるどぶがひ (A. calyppeos Kobelt.) (一版四)

方言 どころがひ

普通体形 殻長三寸五分 高二寸三分 厚一寸七分

形態

殻質脆薄ニシテ長楕圓形ヲナシ全ク翼狀部ヲ有セズ韌帶又薄弱ニシテ蝶番ニ全ク齒ヲ有セズ表面淡暗色若クハ黑褐色ヲ呈シ内面乳白色及青白色ニシテ眞珠層顯美ナラズ

此種ニ外湖ニ産スルモノト内湖ニ産スルモノ及ビ池溝ニ産スルモノト三種アリテ外湖ニ産スルモノハ内湖ニ産スルモノヨリ小形ニシテ表面淡綠色ヲ帶ヒ殻質脆薄ナリ殻頂ハ膨大ニシテ高ク蝶番線外ニ突出シ殻長二寸高一寸五分五厘介厚一寸一分五厘介量十匁ヲ有スルヲ普通大トス附圖(一版四a)内湖産ノモノハ形大ニシテ表面黑褐色ヲ呈シ殻質稍強厚ニシテ殻頂者者ノ如ク高カラズ後半部ハ狹長ニシテ殻長四寸高二寸五分厚一寸八分ヲ有スルヲ普通大トスレドモ殻長六寸高三寸七分厚二寸五分ニ達スルモノアルヲ見ル附圖(一版四)其ノ他池溝ニ産スルモノハ形態前者ヨリ著シク扁平ニシテ小形ニ表面淡綠色ヲ帶ブ附圖(一版四b)

棲息場

まるどぶがひハ内湖入江池沼溝壕等水深一二尺ノ處ヨリ數尋ニ至ル泥土中ニ棲息シ湖中ニ於テハ主ト

テシ河尻泥土沈積セル所ニ産スルモ産額多カラズシテ此ノ介ノミヲ漁獲ノ目的トセル從業者ナシ
 産 額

漁獲物ハ湯煮シテ肉ハめんからすがひ又ハいけてふがひニ混シテ販賣セラレ又自家ノ副食物ニ消費セラレ從テ産額明ナラス
 今内湖ニ産スルモノト外湖ニ産スルモノトヲ比較スルニ生介十貫匁ヨリ得ル肉量ハ下ノ如ク相違ノ大ナルヲ見ルベシ

内湖産(附圖一版四)

外湖産(附圖一版四)

拾貫匁ノ個數	百八十個	九百五十個
空 殼 量	二貫百五十匁	二貫四百二十匁
肉 量	二貫五百匁	一貫八百四十匁
同上炊上肉量	一貫五百匁	一貫〇五十匁
同上乾燥肉量	四 百 匁	二百六十三匁

いしがひ (N. reiniana Iacob.) (一版五)

方言 たてねほし、いしがひ、ねほしがひ
 普通形体 殼長二寸一分 高一寸二分 厚七分三厘

形態

介殼楕圓形ニシテ後縁稍々灣曲シ立烏帽子ニ似タリ殼質極メテ強厚ニシテ殼頂著シク前方ニ偏シ韌帶強固表面暗黒色ヲ呈シ内面極メテ美麗ナル眞珠層ヲ有ス蝶番ニハ強固ナル前側齒ヲ左側ニ二個右側ニ一個ヲ具ヘ蝶番線ニ並行シテ立ツ先端鑿目ヲ有シテ長ク且ツ發達シタル後側齒左ニ二個右ニ一個ヲ有ス前肉柱痕ハ深ク凹入スルヲ見老成セシモノハ總テ殼頂部ノ剝離廣ク内皮層ヲ露出ス

棲息場

棲息場所ハめんからすがひニ同ジク殊ニ湖東地方ニ多ク産ス外湖ニ産スルモノハ内湖ニ産スルモノヨリ形稍小ナリ

此種ト同屬ノモノ六種ヲ産スレドモ本種ヲ除クノ外産額極メテ微薄ニシテ何レモ蜆及めんからすがひ漁獲ニ際シ混獲セラル、ニ過ギズ此六種ノ内ささのばがひヲ除キ他ハ總稱シテたてにほしト稱シ湯煮シテ肉ヲ採リ售賣セラレ時雨煮及佃煮ノ原料トシテ賞味セラル近江水産販賣組合販賣高ヲ見ルニ約二百餘貫匁金額六拾六圓餘ニ過ギズ

びわいしがひ (N. bivaie Krb.) (一版六)

方言 たてにほし、にほしがひ

普通体形 殼長一寸五分 高八分 厚六分

貝殻ささのほがひニ亞イデ細長クシテ厚シ齒ハ前者ニ同ジク前側齒ハ左ニ二個右ニ一個アリテ前後ニ畧反シテ立チ後側齒左ニ二個右ニ一個ヲ具ヘ何レモ粗造ニシテ鏝目狀ヲナス殻面暗黒色或ハ淡黒褐色ヲ呈ス

生息分布前者ニ同ジ

瀬田川漁場ニ於テ二月採集シタル殻長一寸三分七厘高七分五厘厚五分量二匁乃至殻長一寸六分高八分五厘厚六分量四匁ノモノ一貫匁ニ付肉量ヲ調査セシニ下ノ如シ

個 數 三百八十四個

生肉量 二百四十三匁 煮上肉量 百三十八匁 乾燥肉量 四十六匁

空殻量 六百十九匁

水分量 百三十八匁

せたいしがひ (*V. hirtsei* Iiias) (三版七)

方言 いたてねほし、ねほしがひ

普通体形 殻長一寸九分 高一寸二分 厚七分

殻形いしがひトまつかさかひノ中間ニアリテ後部ハ稍狭クシテ長シ殻頂部微カニ皺襞ヲ有ス表面漆黒色又ハ黒褐色ヲ呈ス内面眞珠層ハ肉色ヲ帯ベル顯美ナリ齒ハ前者ニ同様ナルモ左前側齒二個ノ内一個ハ後側齒ニ並行シ他ノ一ツハ直角ニ立ツヲ一般トス産地ハ瀬田川附近トス

瀬田川漁場ニ於テ二月採集シタル殻長一寸九分乃至二寸二分高一寸〇八厘乃至一寸四分厚六分五厘乃至七分八厘量七匁乃至十二匁ノモノ一貫匁ニ付肉量ヲ調査セシニ下ノ如シ

個 數 百〇八個

生肉量 百八十三匁 煮上肉量 百〇三匁 乾燥肉量 三十八匁

空殻量 六百五十二匁

水分量 百六十五匁

まつかさがひ (N. japonensis Ien.) (一版八)

方言 ちぢみがひ

普通体形 殻長一寸六分 高一寸 厚七分

殻形殻質共ニせたいしがひニ酷似スレドモ前者ヨリ形小サク後部廣大シテ殻ノ表面ニ其彫刻稍々松毬ニ似タル皺襞ヲ有スルト前側齒ハ蝶番線ニ直角シテ存スルヲ異ナレリトス
生息分布等前者ニ同シ今瀬田川漁場ニ於テ二月採集シタル殻長一寸一分五厘乃至一寸六分二厘高八分乃至一寸〇七厘厚四分七厘乃至六分五厘量二匁乃至六匁ヲ有スルモノ一貫匁ニ付肉量ヲ調査セシ一ノ如シ

個 數 二百八十六個

生肉量	二百〇六匁	煮上肉量	九百二十三匁	乾燥肉量	三十匁
空介量	六百二十八匁				
水分量	百六十六匁				

ささのはがひ (*N. oxyrhynchus* Maris.) (三版九)

方言 ながちよん、ながたてねほし

普通体形 殻長二寸六分 高九分 厚五分三厘

介殼細長ク笹葉狀ヲシテ殼質強厚ニシテ殼頂ハ甚ダシク前方ニ偏シ後端ハ狹クシテ尖レリ後側齒ハ左ニ二個右ニ一個アリテ長ク鋭ク先端鑷目ヲ有ス前側齒ハ其ノ數後側齒ニ同ジクシテ蝶番線ニ直角シテ立ツ韌帶又強固ニシテ殼頂ノ後方ニ高ク突出シテ漆色ヲ呈ス内面ハ乳白色ニシテ眞珠層ハ多クヲ起シ粗造ナルヲ普通トス

湖岸淺所ヨリ水深十數尋ノ沖合砂地ニ棲息シ主トシテ蛻漁ノ際混獲セラル從テ其量多カラズ今瀬田川漁場ニ於テ二月漁獲ニ係ル殼長二寸六分乃至二寸二分高一寸乃七分厚六分乃至五分量八匁乃至四匁ノ大サノモノニ付肉量ヲ調査セシニ下ノ如シ

個數	百七十七個
生肉量	百六十八匁
炊上ゲ肉量	九十七匁三
乾燥肉量	三十匁

空殻量 六百三十七匁

水分量 百九十五匁

おばえぼし

(*N. parcedentatus* Haas.) (三版一〇)

方言 うばがひ、おぼえぼし

普通体形 殻長一寸二分 高八分 厚六分

Nuditaria 属中最モ小形ニシテ卵圓形若クハ楕圓形ヲナシ殻頂附近ニ大ナル皺襞ヲ有ス前側齒ハ左右各一個ヲ備へ後側齒ハ左ニ一個右ニ二個ヲ有ス表面橙黃褐色ノモノ多シ
棲息分布ハせだしじみに同シク極メテ僅少ヲ産スルニ過ギズ從テ價値乏シ

かたはがひ

(*P. loomisii* Simpson.) (三版一一)

普通体形 殻長二寸三分 高一寸三分 厚六分五厘

殼質 *Nuditaria* 属ヨリ著シク薄弱ニシテ形細長ク稍扁平ナリ前部狭小ニシテ後部ハ廣ク長シ大ナル翼狀部ニハ蝶番線ニ並行シタル波狀ノ襞ヲ刻ス前側齒左右ニ各一個ヲ備へ後側齒ヲ缺ク内面眞珠層ハ紫色ヲ帶ブ

從來瀬田川ニ於テ數個採集セシモノ、外未ダ他ニ之ヲ發見セズ

まるたにし (V. malientus, Reyer) (三版一四)

普通体形 殻長一寸三分 徑九分五厘

殻質同屬中最モ脆薄ニシテ殻口略ホ圓錐形ヲナス階數五個小形ニシテ球形ヲナシ表面帶緑灰色ヲ呈シ内面帶莖白色ヲ呈ス此種ノ多クハ殻面ニ槌痕ノ如キ形ヲ有シ又三條許ノ毛狀表皮附屬物ヲ繞スコトアリ

水田及溜池沼溝ニ産シ内湖入江等水淺キ泥土地ニモ産ス肉ハ食用ニ供シ又養魚餌料トシテ重要ナルモノナリ

年産額約二千貫匁金額五百餘圓ヲ産ス(北ほたにしヲ含ム)

三月採取セシモノニ付肉量ヲ調査セシニ左記ノ如クニシテ之ノ肉量中食用トシテ售買セラル、モノハ頭部ノミヲ採リ一貫匁ノ肉量ヨリ四百二十匁ヲ得他ノ尾部(内臟物ヲ含ム)ハ廢棄シ又ハ肥料ニ供セラル

水田ニ産セシモノ 松原内湖ニ産セシモノ

個 數 二百四十個(一貫匁) 二百三十個(一貫匁)

空 殼 量 二百六十匁 四百〇七匁

肉 量(炊上) 四百八十匁 四百三十八匁(胎仔及尾部ヲ含ム)

同上乾燥肉量 百三十匁 百十八匁

おほたにし

(*A. japonica*, Mart.) (三版一二)

普通体形

殻長二寸二分

徑一寸四分

大形ニシテ周縁角ヲ有シまるたにしヨリ殻質強厚ナリ内湖入江等ニ産シまるたにしト同様經濟的價値ヲ有ス

ながたにし

(*V. sciliferi* Field.) (三版一三)

普通体形

殻長一寸五分

徑八分五厘

殻質重厚ニシテ螺塔高ク体層比較的小ニシテ肩角稍々鋭ク階數五個ヲ有シ螺頂ノ一階ハ缺損シテ平滑ナルヲ普通トス

表面黒色若クハ暗黒褐色ヲ呈ス

湖東區ノめんからすがひ及まるだぶがひト同一場所ニ棲息ス介殻強固ニシテ肉量少ナクたにし屬中價値劣等ナルモノトス

やまとかわにな

(*M. nipponica* Smith.) (三版一五)

普通体形

殻長五分

徑二分五

形態ちくふかわになニ酷似シテ小形ナリ從テ顆粒狀結節モ小ニシテ瀬田川及湖東湖北ノ湖岸岩石ニ附着生存ス

かわにな (*M. ibirina* Gould.) (三版一六)

俗稱 いな、にいら

普通体形 殻長一寸 徑四分

形態

殻ハ黒褐色ニシテ暗黒色ノ表皮ヲ被リ螺塔稍高ク殻面圓滑ニシテ顆粒狀結節ナシ

棲息場所

到ル處ノ河川沼溝ノ泥土及砂泥地ニ産ス之ノ種ニ二種ノ産地的變種アリテ一ツハ湖岸淺所ノ砂地ニ棲息スル殻長六分徑二分大ノモノニシテ他ハ内湖砂泥地ニ産シ形稍大形ニシテ螺頂ニ近キ部分階數二三個ハ高キ縦筋ヲ有ス

いほかわにな (*M. multigranosa* Btieg.) (三版一七)

普通体形 殻長一寸四分 徑五分

形態

介殼白地ニ淡黒角色ヲ呈シ内面乳白色ナリ螺塔頗ル高ク無數ノ小ナル結節ハ螺脈上ニ相連立シテ波状ニ縦列ヲナス螺脈ハ外唇ニ於テ十條ヨリ始マリ内四條ハ内唇ニ終リ六條ハ螺層ニ及ブ階數六乃至七個ニシテ以下缺損スルヲ普通トス

棲息分布

湖中淺所ヨリ十數尋ノ水深ヲ有スル砂地ニ産シ蛻ニ混獲セラル而シテ深所ニ産スル者ハ概ネ形小ナリ

ちくぶかわにな

(*M. nipponica chinensis* File.) (三版一八)

普通体形 殼長一寸〇五 經六分

形態

殼ハ暗黒色ニシテ内面微帶董色ナリ顆粒状ノ大ナル結節ヲ有シ之ノ結節相並行シテ螺脈及縦筋ヲナス之ノ螺脈ハ外唇五條ニ初マリ内二條ハ内唇ニ終リ三條ハ体層ヨリ次体層ニ及ビ階數三個ニシテ以下殼頂ヲ缺落スルヲ普通トス

棲息分布

水質清澄波浪激甚ナル所ニ棲息シ専ラ湖中白石礁ノ岩石ニ附着棲息ス竹生島多景島沖島等ニモ産スレ
凡形小ニシテ一見やまとかわになト識別スル事困難ナリ

ものあらがひ (*I. japonica* Jav.) (三版一九)

普通体形 殻長七分五厘 徑四分五厘

形態

腹足類中有肺類ニ屬シ介殼螺形ナレバ唇ヲ有セズ螺塔極メテ短小ニシテ體層膨大シ從テ殼口廣大口縁ハ廣ク外方ニ向テ擴張シ表面角色ヲ呈シ褐色ノ斑彩ヲ有ス

接息分布

此種ハ内湖入江池沼ノ有機物多キ所ニ生息シ呼吸器ハ心臓ノ前方ニ位シ鰓ノ代ニ肺囊ヲ有シ時々水面ニ浮游シテ呼吸ヲナシ又螺頂ヲ下ニシテ能ク水面ヲ浮游移動ス夏季繁殖シ冬季ハ泥中又ハ物蔭ニ潛入シテ活動セズ又養魚池等ニ發生シテ養魚ノ餌料ヲ侵食シ魚ニ害ヲ及スコトアリ

ひめものあらがひ (*I. parva* Murts.) (三版二〇)

普通体形 介長二分二 徑二分

形態

形小ニシテ前者ヨリ殼質強厚ナリ縁ハ擴大ナラズ表面赤褐色ヲ呈シ有機物多キ溝渠ノ浮泥中ニ生息ス

どぶしじみ (*S. heterotani.*) (三版二一)

普通体形 介長三分二厘 介高二分五厘 介厚二分

形態

介形蛻ニ酷似シ殻質極テ薄弱ニシテ表面暗角色ヲ呈ス

棲息場所

ひめものあらがひニ同ジク下水道及溝渠等ノ有機物多キ浮泥中ニ群棲ス介長ノ三倍スル長大ナル足ヲ伸ハシテ匍匐スルヲ見ル冬季盛ニ發生シテ夏季死滅スルモノ多シ

琵琶湖産ノ眞珠

淡水産蚌介類ヨリ貴重ナル眞珠ヲ産出シ又介殻中ニ種々ノ固形物ヲ挿入シテ眞珠層ヲ被着セシメ人工眞珠或ハ眞珠佛像等ヲ製出スルコトハ古來人ノ知ル處ナリ

本縣産介類中眞珠ヲ含有スルモノ少ナカラスト雖モ比較的之レヲ發見スルコト多キハめんからすがひ(方言だぶがひ)いけてふがひ(方言からすがひ又ねんがひ)いしがひ、ささのはがひ(方言ながたてはほし又ながちよんしじみ、ニシテめんからすがひヨリハ往々一粒數拾圓ノ眞珠ヲ出スコトアリ然レモ眞珠ハ個々ノ介殻内何レモ含有セラル、モノ一アラスシテ偶々發見セラル、ニ不過又含有セル眞珠ハ凡テ高

價ノ者ノミニアラズ故ニ數拾圓ノ價值アルモノヲ出スハ極メテ稀有ノコト一屬ス

淡水産眞珠ノ價值ハ形眞圓ニシテ淡桃紅色ヲ呈シ光澤良好一點ノ瑕瑾ナク量大(直徑二分量一分以上)ナルモノヲ上乘トシ形小ナルカ(直徑二分以下)又ハ光彩良好形大ナルモ眞圓ヲ欠クモノ之ニ亞ギ次デ直徑一分以上ヲ有シ眞圓形又ハ稍扁平卵圓形楕圓形顯レ少ナキ瓢形等ヲナスモ色彩可良光澤アルモノハ普通裝飾用トシテ用ヒラレ一粒ヲ以テ販賣セラル以上ハ多クめんからすがひ、いしがひニ含有セラル、ヲ見ル其他多ク發見セラル、モノニシテ形大ナルモ光彩共ニ不良ナルカ又ハ介殼ニ固着シテ空虚ナルモノ多角形ノモノ乳白色ノモノ灰白色ノモノ細粒ノモノ等ハ何レモ其價乏シキモ顔料藥用等トシテ用ヒラレ總量ニテ販賣セラル

本縣産眞珠ハ蛻蚌介煮上ノ際發見シタルモノヲ採收シ主ニ京阪ヨリ來ル商賣ニ販賣スルモノナレバ其年産額ハ不明ナルモ年額約參千圓ニ達ストハ從來其多クヲ取扱ヘル眞珠業者ノ談ナリ將來其採收及販賣方ニ注意セバ尙多額ノ生産ヲ見ルニ至ルヘシ

今各種類ヨリ生スル眞珠ノ品位ヲ調査スルニ左ノ如シ

めんからすがひ(だぶがひ) 此介ヨリハ優良ナル眞珠ヲ出スコトアリ介殼厚ク内面眞珠層ハ稍々淡桃紅色ヲ帶ヒ光澤アリ(外湖産ノモノハ殼薄ク内面眞珠層ヲ透シテ稜柱層ヲ視ルコトヲ得)珠ハ多ク淡桃紅色ヲ帶フルモ濃淡一様ナラズ細粒ノモノハ銀白色ノモノアリ前肉柱附近ノ外套膜中ニ存ス縁邊ニ近ク存スルモノハ青銅色ヲ呈ス個体ニ一粒乃至數粒ヲ含有シ直徑一分以下ノモノ多シ外套膜ヨリ離脱シテ介殼ニ固着セルモノ亦少ナカラズ殼長五寸以上ノ老成介ニ多ク發見セラレ又產地ニヨリ含有數ニ差違アリ明治四十三年一月調査セルモノ左ノ如シ

産地 調査セシ介ノ數 珠ヲ有セシ介ノ數 珠ノ數

松原内湖 二三五個 三六個 四〇粒 二粒ヲ有セシモノ四個其他ハ何レモ一個

同上 六五 五 七 母介ハ老成ノモノナリ

中ノ海伊(庭産) 六八 九 九 母介ハ若シ

同上(下豊浦産) 一〇三 二五 二九 三粒ヲ有セシモノ一個二粒ヲ有セシモノ二個

珠ハ何レモ細粒ニシテ右側前肉柱附近ニ多ク發見ス

いしがひ 前者ニ亞キ眞珠ヲ有スルコト多ク介形小ナルモ殻厚ク内面眞珠層ハ前者ニ比シ稍濃色ナ

リ珠ハ淡キ銅色ヲ加味スルモ光澤アリ濃淡一樣ナラズ扁圓形ノモノ多キモ裝飾用トシテ價値アルモノ

少ナカラズ

いけちよがひ(からすがひ) 介殼厚ク眞珠層ハ稍鋼色ヲ加味シ光澤アリ珠ハ白色又ハ灰白色ヲ呈スル

モノ多ク往々形大ニシテ光彩良好ノモノヲ出スモ概シテ前二者ニ及バサルモノ多シ野洲郡菖蒲産ノ老

成母介百個ヲ檢シテ珠ヲ有セルモノ四個四粒ヲ發見セリ

まるとぶがひ、介殼薄ク眞珠層亦前三者ニ及ハス珠ヲ有セルモノ少ナク品質劣リ光澤十分ナラズ松

原内湖産老成母介七十二個ヲ檢シテ珠ヲ有セルモノ三個三粒ヲ發見セリ

ささのはがひ及しじみ 是等ノ介類ニハ細粒ノ眞珠ヲ出スコト少ナカラス稀ニ光澤アル淡桃紅色ノ

珠ヲ出スコトアルモ概シテ乳白色灰白色淡紫色等ノモノ多ク何レモ光澤ヲ缺キ價値ナシ

大正三年三月二十九日印刷

大正三年三月三十一日發行

滋賀縣水產試驗場

岐阜縣安八郡大垣町大字郭四拾五番地ノ貳

印刷者 河田貞次郎

岐阜縣安八郡大垣町大字郭百五十三番戶

印刷所 西濃印刷株式會社